

を全て生かせる職がMRだと思い、志望いたしました。

②「なぜ仕事をするのか」、この問いに対する答えを持つことが大切だと考え、分野や年齢を問わず多くの方と交流し、様々な考えや発見を取り入れて、より仕事に対する考えを明確に伝えられるように心がけていました。

③就活活動に関わらず、『仲間づくり』：自分と価値観の合う友達、熱く何でも語れる友達をつくること、『自己分析』：客観的に自分がどのような傾向にあり、かつ何が得意でそうでないのかを明確にすること。

④薬学生のみなさん、まずは国家試験に必ず合格してください。そして、就職活動は真剣に自分を振り返り、将来像を考える絶好の機会です。就職活動中に様々なことに悩むと思いますが、そのときに支えてくれる家族、仲間の大切さをそのたびに感じると思います。

就職活動も大きな目で見れば受験と同じく通過点でしかありません。自分自身を見直せる与えられたチャンスだと思って、自分を信じて前向きに、せっかくなら楽しく取り組んでください！



公務員

名前：森田美咲さん
出身大学：広島国際大学
勤務先：大阪府

①学外実務実習を経験して、病気になることによる様々な困難さについて認識を深めました。そこで、社会全体の健康を支援できるような仕事に就きたいと思い、公衆衛生に関わる現在の仕事を選びました。

②ベタなことはだいたいいました。いろいろな就活サイトに登録したり、多業種の合同説明会に参加したり、「就活の必勝法！」のような本を何冊も読みました。マナー講座で得た知識は、社会人になっても役立っています。

③広義の就活、つまり興味がある分野の知識を深めたり、普段の学生生活では出会えないような人（他学部生や社会人）に会いに行き、視野を広げたりすることは、いつからでも始められるのでお勧めです。

④就職した現在でも、就活を思い出すと真っ先に「辛かったなあ」という気持ちが湧いて出ます。望む結果が得られない不安や、友人が内定を獲得する姿に嫉妬するやるせなさ、必死になって自分の長所を絞り出すむなしさを一度に経験する就活は、人生の一大イベントの1つと言っても過言じゃないでしょう。これから就活を迎える皆さんは、就活を「勝ち抜く」と同じくらい、就活を「生き抜く」ことも大切にしてくださいね。



行動経済学と行動心理学



メディセレCEO
児島 恵美子

こんにちは、メディセレの児島恵美子です。今回は行動経済学と行動心理学についてご紹介しましょう。

経済学ではデータを非常に重視します。「人間を騙せてもデータは騙せない」という考え方です。今こそ医療もエビデンスが重視されますが、経済学はまさにエビデンスで成り立っている学問です。

行動経済学者のダン・アリエリー先生の著書「嘘とごまかしの行動経済学」には「祖母たちの訃報」という章があります。試験や課題提出時、生徒の祖

国試予備校の現場から

母が亡くなる確率は、中間テストで通常の10倍、期末テストで19倍、成績が芳しくない子は50倍に跳ね上がるそうです。なんと興味深い！メディセレでもこれはあるある事例です。現実から逃避しているわけです。気持ちは分かりますが、問題を先送りしているだけで、解決にはなっていませんよね。

人生は報われないことの方が多いです。勉強もそのうちの1つです。だからといって逃げたり諦めたりしては絶対いけません。頑張ったことが自信になります。自信が知識の裏付けになり、結果になるのです。

ハーバード大学フライヤー教授の実験で、「結果」にご褒美を与える場合

より、「勉強という行為」にご褒美を与えた方が、成績は伸びることが示されています。意外ではないですか？直接的な褒美の方が結果につながると思われがちですが、それは結果にだけこだわることにもなるのです。勉強という行為に、結果が後からついてくるといふエビデンスだと思います。

「国試合格は頭の良し悪しではなく、勉強のやり方の良し悪しで決まる」と私は生徒に伝えていきます。行動心理学的にも、社会で活躍するために国家試験に絶対合格することを願う気持ちが結果につながると確信しています。だから、みんなで「願生ろう！（がんばろう）」

“ヘルスケア商材を扱う売場”のための、情報サイト

(医薬品・医療衛生用品など)

へるなび

へるなび

検索

<http://www.hc-navi.jp>



へるなび Health Care Store 店長 朝田元気